

< 1 学年の重点指導目標 >

- ① 地理的分野の学習と歴史的分野の学習の関連を図りながら、学習事項の繰り返し指導を行い、基礎的な知識の確実な定着を図る。
 ② 課題解決学習を単元の終わりに位置づけ、作業的・体験的な学習を通じて、主体的に取り組む学習姿勢を育む。

通年 ICT、NAVIMA 使用

【地理的分野】

月	時数	項目 (◎ 学習課題)	学習内容・ 学習活動	指導上の留意点	評価規準 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
第1部 世界と日本の地域構成					
4月	5	第1章 世界の姿 ■章の問い■ 世界にはどのような国があり、その位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。	<第1部第1章のねらい> 世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解させる。 ②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。 ③世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。		<第1部第1章の評価規準> ①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
4月・5月	4	第2章 日本の姿 ■章の問い■ 日本の位置や広がりには、どのような特色があるのだろうか。	<第1部第2章のねらい> 日本の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解させる。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。		<第1部第2章の評価規準> ①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第2部 世界のさまざまな地域					
5月	7	第1章 人々の生活と環境 ■章の問い■ 世界各地の人々の生活は、自然環境とどのような関わりがあるのだろうか。	<第2部第1章のねらい> 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解させる。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。その際、世界		<第2部第1章の評価規準> ①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ①世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。 ②世界各地における人々の生活の特色やそ

			<p>の主な宗教の分布についても理解させる。</p> <p>②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>の変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
		<p>第2章 世界の諸地域</p>	<p><第2部第2章のねらい></p> <p>アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解させる。</p> <p>①アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解させる。</p> <p>②アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p><第2部第2章の評価規準></p> <p>①世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。</p> <p>①アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。</p> <p>②アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
5月・6月	7	<p>第1節 アジア州</p> <p>■節の問い■ アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<p><この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。</p>	<p><この節の評価基準></p> <p>①アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解している。</p> <p>②他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察、表現させる。</p> <p>③人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしている。</p>
6月・7月	6	<p>第2節 ヨーロッパ州</p> <p>■節の問い■ ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。</p>	<p><この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、ヨーロッパ州で見られるEU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響を、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。</p>	<p><この節の評価基準></p> <p>①ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、EU統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解する。</p> <p>②他地域との結びつきや地域などに関わる</p>

				<p>視点に着目して、EU 統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③日本との比較をまじえながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU 統合や文化の多様性に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。</p>
7月	5	<p>第3節 アフリカ州</p> <p>■節の問い■ アフリカ州の国々では、特定の産物に頼る経済が、地域にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<p><この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきやアフリカ州という地域に着目し、モノカルチャー経済からの脱却やアフリカ州の国々の発展や支援の在り方などを取り上げて、アフリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。</p>	<p><この節の評価基準></p> <p>①アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べまとめている。</p> <p>②一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追及し、そのような貿易形態の問題点を多面的多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。</p> <p>③モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。</p>
9月	5	<p>第4節 北アメリカ州</p> <p>■節の問い■ 北アメリカ州では、アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達した結果、地域にどのような影響が生じているのだろうか。</p>	<p><この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきや北アメリカ州という地域に着目し、アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達したことなどを取り上げて、北アメリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。</p>	<p><この節の評価基準></p> <p>①多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解しまとめている。</p> <p>②北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察している。</p> <p>③世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。</p>
9月	5	<p>第5節 南アメリカ州</p> <p>■節の問い■ 南アメリカ州では、農地や鉱山の開発が進むことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。</p>	<p><この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきや南アメリカ州という地域に着目し、農地や鉱山の開発が地域に影響したことなどを取り上げて、南アメリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。</p>	<p><この節の評価基準></p> <p>①多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解するとともに、ブラジルでは経済発展が進む一方で、経済格差などの問題が生じていることを、本文や資料から調べまとめている。近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。</p> <p>③多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。</p>

10月	4	<p>第6節 オセアニア州</p> <p>■節の問い■ オセアニア州では、他地域との関係が変化してきたことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。</p>	<p><この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきやオセアニア州という地域に着目し、白豪主義から多文化社会への転換などを取り上げて、オセアニア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。</p>	<p><この節の評価基準></p> <p>①自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすと、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べまとめている。</p> <p>②オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。</p> <p>③広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
-----	---	---	--	---

【歴史的分野】

月	時数	項目 (◎ 学習課題)	学習内容・ 学習活動	指導上の留意点	評価規準 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
		第1部 歴史のとらえ方と調べ方			
10月	3	第1節 歴史の流れと時代区分	<p><第1部第1節のねらい></p> <p>①中学校の歴史学習の導入として、小学校で学習した内容をもとに課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させ、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。</p> <p>②小学校での学習を踏まえて、歴史上の人物や文化財、出来事などと時代区分の関わりなどについて考察し表現させる。</p>		<p><第1部第1節の評価規準></p> <p>①年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。</p> <p>①資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</p> <p>②時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。</p> <p>③過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
		第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり			

10月	5	<p>第1章 古代 古代国家の成立と東アジア</p> <p>■章の問い■ 古代の国が成立するために重要なことは何か。</p>	<p><第2部第1章のねらい></p> <p>①世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解させる。</p> <p>①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていたことを理解させる。</p> <p>①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。</p> <p>①仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解させる。</p> <p>②古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>②古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p><第2部第1章の評価規準></p> <p>①世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。</p> <p>①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていたことを理解している。</p> <p>①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。</p> <p>①仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。</p> <p>②古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
10月	5	<p>第1節 人類の登場から文明の発生へ</p> <p>◇節の問い◇ 世界各地の文明は、どのように成立し、発展したのだろうか。</p>	<p><「世界の古代文明や宗教のおこり」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○古代文明や宗教が起こった場所や環境などに着目して文明や宗教の特徴を比較して考察し、世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展、都市や巨大建造物、身分の分化などの共通する特徴があることに気づかせる。</p> <p>○ギリシャ・ローマ文明の政治制度について、現代につながる面と現代の民主主義とは異なる面の両面を踏まえて理解させる。</p>	<p><「世界の古代文明や宗教のおこり」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、世界の各地で文明が築かれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②古代文明や宗教が起こった場所や環境に着目して、文明や宗教の特徴を比較して考察し、共通点に気づくなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界の古代文明や宗教のおこりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
10月・11月	5	<p>第2節 東アジアの中の倭（日本）</p> <p>◇節の問い◇ 日本列島には、どのようにクニが出来て、勢力を広げたのだろうか。</p>	<p><「日本列島における国家形成」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○日本列島において狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拜や農耕儀礼などにもとづく信仰が後の時代にもつながっていることに気づかせる。</p> <p>○古墳の大きさやその分布をもとに、ヤマト王</p>	<p><「日本列島における国家形成」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとのかかわりなどをもとに、東アジアの文明の影響を受けながらわが国で国家が形成されていたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>

			<p>権の勢力の広がりや生産技術の発展に着目して、農耕の広まりが生活や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③日本列島における国家形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
11月	5	<p>第3節 中国にならった国家づくり ◇節の問い◇ 日本の古代国家は、どのような国づくりを行ったのだろうか。</p>	<p><「律令国家の形成」「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元のねらい> ○聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を大きくとらえさせ、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解させる。 ○大陸からもたらされた仏教が、わが国の文化のさまざまな面に影響を及ぼしたことに気づかせ、国際的な要素をもった文化が栄えたことを理解させる。</p>
			<p><「律令国家の形成」「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元の評価規準> ①律令国家の確立に至るまでの過程をもとに、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③律令国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
12月	5	<p>第4節 展開する天皇・貴族の政治 ◇節の問い◇ これまでに中国から取り入れた制度や文化は、どのように展開したのだろうか。</p>	<p><「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元のねらい> ○摂関政治をもとに平安京における貴族の政治の特色をとらえさせる。 ○東アジアの情勢の変化によって、わが国でも政治と文化において独自の動きが見られるようになったことに気づかせる。 ○日本独自のかな文字が発明され、それを使った文学作品が書かれたことなどに気づかせ、文化の国風化が進んだことを理解させる。</p>
			<p><「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元の評価規準> ①摂関政治をもとに、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③古代の文化と東アジアとの関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	5	<p>第2章 中世 武家政権の成長と東アジア ■章の問い■ 人々がそれぞれに結び付きを強めていった目的は何か。</p>	<p><第2部第2章のねらい> ①鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。 ①南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。 ①農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。 ②武士の政治への進出と展開、東アジアにお</p>
			<p><第2部第2章の評価規準> ①鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ①南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 ①農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 ②武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交</p>

			<p>る交流，農業や商工業の発達などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。</p> <p>②中世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現させる。</p> <p>③中世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>流，農業や商工業の発達などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>②中世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③中世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
12月	5	<p>第1節 武士の世の始まり</p> <p>◇節の問い◇ 武家政権はどのように誕生し，どのような政治を行ったのだろうか。</p>	<p>＜「武家政治の成立とユーラシアの交流」を扱うこの単元のねらい＞</p> <p>○武士が台頭して武家政権が成立し，その支配が広まったことを理解させる。</p> <p>○武家政治の特徴を考察し，天皇や貴族の政治との違いという観点から，古代から中世への転換の様子に気づかせる。</p>	<p>＜「武家政治の成立とユーラシアの交流」を扱うこの単元の評価規準＞</p> <p>①鎌倉幕府の成立などをもとに，武士が台頭して，主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し，その支配が広まったことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②武士の政治への進出と展開や貴族の政治との違いに着目して，武家政治の特徴を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，古代から中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③武家政治の成立とユーラシアの交流について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
1月	4	<p>第2節 武家政権の内と外</p> <p>◇節の問い◇ ユーラシア大陸からの影響によって，日本にどのような変化が起こったのだろうか。</p>	<p>＜「武家政治の展開と東アジアの動き」を扱うこの単元のねらい＞</p> <p>○元寇がユーラシアの変化の中で起こったことなど，武家政治の展開とともに，東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解させる。</p> <p>○南北朝の争乱の中で室町幕府が成立し，武家社会が次第に大きな力をもっていったこと，日明貿易で銅銭が大量にもたらされ，貨幣経済の発達を促したこと，琉球が日本，明や朝鮮，東南アジア諸国との中継貿易を行っていたことに気づかせる。</p>	<p>＜「武家政治の展開と東アジアの動き」を扱うこの単元の評価規準＞</p> <p>①元寇が国内に及ぼした影響，南北朝の争乱と室町幕府，日明貿易，琉球の国際的な役割などをもとに，武家政治の展開とともに，東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②東アジアの交流に着目して，東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③武家政治の展開と東アジアの動きについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
1月・2月	6	<p>第3節 人々の結び付きが強まる社会</p> <p>◇節の問い◇ 武士や民衆はどのような結び付きの社会をつくっていったのだろうか。</p>	<p>＜「民衆の成長と新たな文化の形成」を扱うこの単元のねらい＞</p> <p>○農業など諸産業の発達や畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立が，当時の社会の大きな変化であることや，それとともに商品流通が活発化したことに気づかせる。</p> <p>○武家政治の展開や民衆の成長を背景とした多様な文化が生まれたことを理解させ，この時代の文化の中に現代に結びつくものが見られることに気づかせる。</p> <p>○各地に戦乱が広まる中で戦国大名が登場し，</p>	<p>＜「民衆の成長と新たな文化の形成」を扱うこの単元の評価規準＞</p> <p>①農業など諸産業の発達，都市や農村における自治的なしくみの成立，多様な文化の形成，応仁の乱後の社会的な変動などをもとに，民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②農業や商工業の発達に着目して，民衆の成長が社会に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</p>

			自らの領国を支配して分国法を定めたり、城下町を形成して産業の振興に努めたりしたことや、下剋上の風潮など、社会全体が大きく変化していったことに気づかせる。	③民衆の成長と新たな文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
		<p>第3章 近世 武家政権の展開と世界の動き</p> <p>■章の問い■ 全国を統一する安定した政権を成立させたものは何か。</p>	<p><第2部第3章のねらい></p> <p>①ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。</p> <p>①江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。</p> <p>①産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。</p> <p>①社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。</p> <p>②交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>②近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p><第2部第3章の評価規準></p> <p>①ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。</p> <p>①江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。</p> <p>①産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。</p> <p>①社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。</p> <p>②交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
2月	6	<p>第1節 大航海によって結びつく世界</p> <p>◇節の問い◇ ヨーロッパの国々は、なぜ世界に進出したのだろうか。</p>	<p><「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きにもなつて、鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり、それらが日本の社会に影響を及ぼし、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。</p> <p>○新航路の開拓の背景となるアジアの交易の状況やムスリム商人などの役割と世界の結びつきに気づかせる。</p>	<p><「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

3月	3	<p>第2節 戦乱から全国統一へ</p> <p>◇節の問い◇ 全国統一が進むなかで社会はどのように変化したのだろうか。</p>	<p><「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○織田信長が行った仏教勢力への圧迫や關所の撤廃、豊臣秀吉が行った検地・刀狩などの政策によって、中世の大きな勢力が力を失ったことや、中世までとは異なる社会が生まれていったことなどの大きな変化に気づかせる。</p> <p>○当時の対外関係として、東南アジアなどとの積極的な貿易、キリスト教への対応、朝鮮への出兵などがあったことを取り上げる。</p> <p>○南蛮文化が取り入れられる一方、生活に根ざした文化が広がり、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪華・華麗な文化が生み出されたことに気づかせる。</p>	<p><「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べとめている。</p> <p>②統一政権の諸政策の目的に着目して、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③統一事業について、よりよい社会の実現を視野にそことで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
----	---	---	--	--

<補充教材の取り扱い>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元毎に問題演習を実施し、基礎的な知識の整理・定着を図る。 ・ 資料集や地図帳、白地図、プリント等を活用し、主体的に取り組む発展的な学習を行う。

<評価の方法>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ 授業観察 ・ ワーク ・ 授業ノート ・ プリント ・ 長期休業中の課題

<評定算出にあたっての重みづけ>

観点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
重みづけ	1	1	1